

令和6年度 理科教育功労者 推薦文 支部番号[28] 兵庫県

1 現・兵庫県立小野高等学校校長 小倉 裕史

小倉先生は、昭和63年に兵庫県立高等学校の理科教諭として奉職されてから、化学分野を中心に生徒の思考力・判断力を高める指導に力を注いできました。特に観察・実験については「化学実験書」を作成する等、全県的な教員の指導力向上に取り組まれました。また、県教委指導主事としてSSH指定校の指導助言やJST主催「中高生の科学部支援活動推進事業」の審査委員、「科学の甲子園全国大会」の運営委員等を務めただけでなく、管理職としても本県理科教育の発展に尽力されました。さらに平成20年度以降、兵庫県高等学校教育研究会科学部会評議員、副会長、会長を務める等、本部会発展にも貢献されています。特に本部会主催の「若手から中堅理科教員のための観察・実験研修会」においては、理科教員・実習教員の指導力向上はもとより、相互の繋がりを深められました。その活躍には顕著なものがあり長年の多大なご功績により教育功労者として推薦致します。

2 現・兵庫県立御影高等学校教諭 秋山 衛

秋山先生は平成元年に兵庫県立高等学校の理科教諭として奉職されてから、36年間教育現場で生徒に自然科学へ興味関心を沸かせる工夫を実施されてこられました。長年SSH事業の中心として取り組み、課題研究を通して将来につながる自然科学の目をもつ多くの生徒を育成されました。また、兵庫県高等学校教育研究会科学部会での幹事として会の運営に貢献するとともに、その取組を、日本理化学協会総会・全国理科教育大会等の機会でも発表され、普及に貢献されました。特に企画開発された「瀬戸内海環境を考える高校生サミット」は、多くの高等学校や関係機関と連携を通じた地域課題解決に向けた生徒の育成の取組として、複数回SSH重点校として指定され、環境教育の取組例として高い評価を得ています。兵庫県だけでなく全国の理科教育にも貢献され、その活躍には顕著なものがあると認められ、長年の多大なご功績により教育功労者として推薦致します。